



講義



認定看護師研修 “アハ!ワーク”

介護福祉士たち



演習：安楽な体位変換



演習：食事介助



豊橋市民病院には 介護福祉士がいる

2020年度の介護福祉士就労調査によると、介護福祉士の働く場所
は高齢者福祉関係が8割を占め、病
院・診療所など医療関係は1割に満
たないとのこと。急性期病院で働く
介護福祉士は、希少な存在です。

介護福祉士は、生活支援のプロ。
患者さん自身でできることを見守
り、さりげなく自立に向けた支援を
します。慣れない病院での生活、緊
張と不安で過ごす日々を提供するレ
クリエーションでは、患者さんは笑
顔になり、前向きな気持ちが自然と
湧いてきます。

看護チームの一員として介護福祉
士を迎えて丸2年。私たちは、彼ら
とたくさん対話し、患者さんとのか
わりを見聞きすることで、介護の
極意を知ろうと努めてきました。介
護福祉士と看護師、職種は違えど、
患者さんの生活を支える専門職。

「患者さんが望む生活に向けてとも
に歩む。だからこそよいケアを届け

たい」という同じ思いのもと、互い
の良さや得意とすることなどが分か
り合えるようになったと感じていま
す。

豊橋市民病院の看護には強い味方
が増えたといううれしさと同時に、
介護福祉士たちが医療の中で安心し
て介護が実践でき、「良さ」が発揮
されるようにしっかりとサポートし
なければならぬと身が引き締まる
思いです。

新しい仲間

当院の介護福祉士たちは、多くが
高齢者福祉関係の施設・事業所で働
いていた経験者ですが、中には新卒
者も入職しています。今年度は経験
者である4名の新規採用者を迎えた
ました。急性期病院という医療の場
において、患者さんの安全や安心を確
保した適正な介護が実践できるよう
様々な研修を受け、学んでいます。
現場では、先輩介護福祉士たちが良
きサポート者となり、後輩たちの成
長を見守っています。